

# アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた 国際文化交流促進事業

(28年度予算額 110百万円)  
29年度予算額 110百万円

## 目的

国内外の芸術家等が一定期間滞在し、様々な交流を通して創作活動や将来の創造活動等に有益となるプログラムを提供するアーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業を支援することにより、AIR実施団体の国際的な協力関係が活発になり、国内外の芸術家等との双方向の国際文化交流が継続的に行われる状況を創出する。

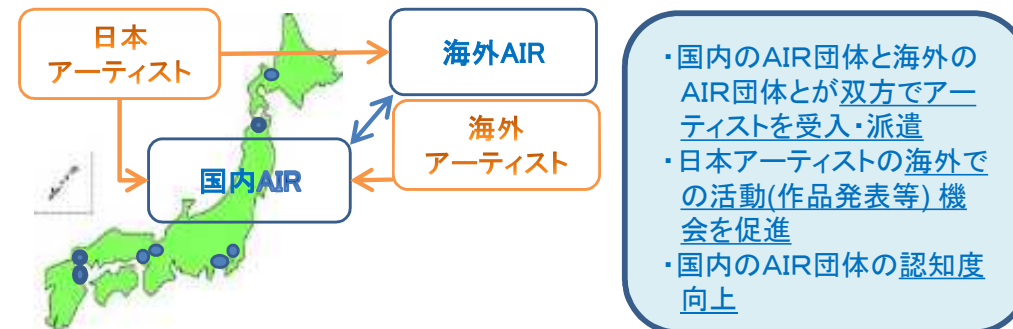
## 現状

海外のAIR団体等との交流が萌芽



## 次の段階

海外のAIR団体等との日常的かつ、継続的な交流が実現



## 事業内容

### 国内のアーティスト・イン・レジデンス団体に対する活動支援

国内外のアーティスト等が一定期間滞在して行う創作活動(制作, リサーチ, 意見交換など)のサポート及び創造活動につながるアウトリーチ活動(作品発表, セミナー, ワークショップ等の交流事業, 大学等の他機関と連携して行う交流事業)を実施する国内AIR団体を支援。

#### ○双方向交流発展支援

海外のAIR実施団体との協力関係を強め、パートナーシップ協定等により行う双方向交流プログラム(アーティスト等の受入・派遣)を支援。

#### ○双方向交流促進・牽引支援

海外のアーティスト等を積極的に受け入れており、今後の双方向交流が見込まれるプログラム, 国内のAIR団体と連携して行うプログラムを支援。

- 我が国のアーティスト・イン・レジデンスが、国境を越えたアーティスト等の交流の場として機能
- 我が国のアーティスト等の海外における創作活動等の機会が拡大

